

病虫害発生予察情報

7月月報

平成13年8月9日
東京都病虫害防除所

1 気象概況

2001年 7月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均					
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比(%)	本年	平年比(%)
上旬	32.6	5.6	22.7	2.9	27.2	4.0	0	0	81.1	317
中旬	33.9	5.8	25.0	3.8	29.1	4.8	0	0	78.8	340
下旬	32.5	2.1	24.0	1.3	27.6	1.5	25	41	52.4	98
平均	33.0	4.5	23.9	2.7	27.9	3.4				
合計							25	15	212.3	201

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979～2000年の平均値)からの差(比)

◎ 気 温：上・中旬は平年よりかなり高く、下旬はやや高かった。

◎ 降 水 量：上・中旬は降雨はなく、下旬はやや少なかった。

◎ 日照時間：上・中旬は平年よりかなり多く、下旬は平年並であった。

<天候概況>

上旬：旬の半ばは梅雨前線南下の影響で一時曇天となったが、旬の始めと終わりは高気圧に覆われ、晴れた真夏日となる日が続いた。

中旬：太平洋高気圧に覆われ、晴れて厳しい暑さとなり、上旬に引き続き13日間連続の真夏日となった。後半には大気が不安定となり、18日には板橋区で1時間に100ミリを越える局地的に激しい雷雨があった。梅雨明けは11日頃であった。

下旬：前半は厳しい暑さが続いた。後半はオホーツク海高気圧が強まり一時的に暑さは和らいだ。25日には大気が不安定となり多摩地区を中心に1時間に40ミリ前後の激しい降雨があった。24日に東京で最高気温が38.1℃と7月として最も高い記録となった。

2 作物生育概況

(1) イ ネ

生育は良好で、分けつはやや多かった。

(2) サツマイモ

乾燥のため、生育は抑制された。

(3) 野 菜 類

気温が高く、降水量が極めて少なかったことから、全体を通して生育が劣る傾向にあった。

果 菜 類：トマト、キュウリ、ナス等の果菜類は、灌水を行った圃場では問題は少なかったが、灌水を行えなかった圃場では、生育が劣る傾向にあった。またスイートコーン、エダマメ等の生育についても平年並か劣る傾向にあった。

葉根菜類：コマツナ、ホウレンソウの施設栽培では高温の影響によりやや軟弱な生育を示した。
 キャベツ、ブロッコリーなどの育苗は概ね順調であったが、今後、定植時の乾燥が懸念される。ニンジンについては地域によっては播種できない状況下であり、播種しても発芽不良の問題が生じている。いも類ではサトイモの生育がきわめて不良であり、収量の減少が予想される。

(4) 果 樹

ナ シ：果実肥大は、前半は平年より7～10日、後半は5日前後早かった。
 ブドウ：果実のベレーゾン、着色開始期は、平年より1週間程度早かった。
 カ キ：結果数は平年並、生理落果は平年より少なかった。
 ク リ：きゅう果の生育は、平年並からやや良であった。

⑤ 茶 樹

6月後半から気温が高く、二番茶の摘採期は早まり、7月はじめまでに摘採を終了した。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病	< 少 >	全般的に発生は少なかったが、一部山間部で多発し、ズリコミ症状を起こしている水田を認めた。
紋枯病	< 少 >	発生は少なかった。
ニカメイガ	< 並 >	発生は平年並であった。
イネツトムシ	< 並 >	発生は平年並であった。
ヒメトビウンカ	< 並 >	発生は平年並であった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< 多 >	水田周辺の雑草地でクモヘリカメムシとアカスジミドリカスミカメの発生が多かった。

(2) 果樹の病害虫

ナ シ		
黒星病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
果樹共通		
チャバネアオカメムシ	< 多 >	発生は多かった。
クサギカメムシ	< 多 >	発生は多かった。

(3) 茶樹の病害虫

チャハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノホソガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
カンザワハダニ	< 並 >	発生は平年並であった。

ナガチャコガネ

<やや少>

発生はやや少なかった。

(4)野菜の病虫害

キュウリ

うどんこ病

<やや少>

発生はやや少なかった。

べと病

<やや少>

発生はやや少なかった。

斑点細菌病

< 少 >

発生は少なかった。

つる割病

<やや少>

発生はやや少なかった。

アザミウマ類

< 並 >

発生は平年並であった。

トマト

モザイク病

< 並 >

発生は平年並であった。

青枯病

< 並 >

発生は平年並であった。

葉かび病

<やや少>

発生はやや少なかった。

白ぶくれ症

<やや多>

発生はやや多かった。

オンシツコナジラミ

<やや少>

発生はやや少なかった。

オオタバコガ

< — >

発生は昨年に比べてやや多かった。

ナ ス

うどんこ病

< 少 >

発生は少なかった。

半身萎凋病

< 並 >

発生は平年並であった。

ミカンキイロアザミウマ

< 並 >

発生は平年並であった。

ハダニ類

< 並 >

発生は平年並であった。

チャノホコリダニ

< 並 >

発生は平年並であった。

アブラムシ類

< 並 >

発生は平年並であった。

ニジュウヤホシテントウ

< 並 >

発生は平年並であった。

コマツナ

萎黄病

<やや少>

発生はやや少なかった。

炭疽病

< 少 >

発生は少なかった。

コナガ

< 並 >

発生は平年並であった。

キスジノミハムシ

<やや少>

発生はやや少なかった。

アザミウマ類

< 多 >

発生は江東地区中心に多かった

アブラナ科野菜共通

ハイマダラノメイガ

< — >

調布の一部コマツナで多発圃場が認められた。少発生ながら各地で発生が認められた。

スイートコーン

アワノメイガ

< 並 >

発生は平年並であった。

ネ ギ

さび病

< 少 >

発生は少なかった。

黒斑病

< 少 >

発生は少なかった。

ネギアザミウマ

< 並 >

発生は平年並であった。

ネギハモグリバエ

<やや少>

発生はやや少なかった。

野菜共通の病虫害

マメハモグリバエ

<やや少>

発生はやや少なかった。

ワタアブラムシ

<やや少>

発生はやや少なかった。

(5)花きの病害虫

キ ク

アブラムシ類

<やや少>

発生はやや少なかった。

シクラメン

チャノホコリダニ

< 並 >

発生は平年並であった。

ミカンキイロアザミウマ

<やや少>

発生はやや少なかった。

(6)植木の病害虫

チャドクガ

<やや少>

発生はやや少なかった。

⑦ 島しょの病害虫

特記事項なし

テレフォンサービス

042 (525) 8407

インターネットの防除所ホームページ
<http://www.taes.metro.tokyo.jp/boujo>

病害虫の発生予察情報，発生状況，防除方法
などをお知らせしています。

東京都病害虫防除所ホームページは現在一時閉鎖中です。